

研修ⅠB 「若い教師のための基礎・基本講座Ⅰ 国語科授業のファーストステップ」
物語文編「登場人物の気持ちの移り変わり」

国語科授業の基礎・基本

「学習指導要領解説 国語編」に基づいて授業ができるようになること。

いろいろな教材に適用し、基礎・基本の不易な部分は今後も活用できて、「何をどう教えたらよいか分からない」という悩みが減る。

学習指導要領 国語編

国語科の内容は、3領域1事項で構成されている。

B 書くことの指導事項 … 学習過程（書く行為）の順に示されている。

C 読むことの指導事項 … それぞれが独立し、関連し合っている。

* 指導事項に構成の違いがあり、1年から6年まで系統だった指導事項がある。

学習指導要領に基づいた実践例 3年「サーカスのライオン」（東京書籍）

文学的な文章に関する指導事項を中心に、音読に関する指導事項や自分の考えの形成及び交流に関する指導事項を関連づけた指導。単元を貫く言語活動として最後に、音読発表会につなげることも可能。

(1) じんぎの気持ちを
想像する。
・ 男の子と出会う前のじんぎ
・ じんぎと男の子の境遇を場面をつなぎながら捉え、どのような関係かを考える。
・ 男の子と出会ったあとの場面からつながる言葉を見つけ、気持ちの変化を読み取る。

(2) 音読をする。
・ 文脈の中で考える。(明・暗)
・ どのように音読するのか。
(根拠・理由を述べて)
・ 目的をもった読みをする。
・ 他の場面とつなぎ、イメージに合わせて読む。
・ 自分を取り巻く現実や経験と照らし合わせ、感じ取った感想や感動を大切に読む。

(3) 考えたことを
発表する。
・ 個々の感じ方の違いを認め合えるクラス作りをする。
・ 指導事項に書かれている力を発揮して学び合わせる。

説明文編「題名・段落・要約について」

学習指導要領 C 読むことの「説明的な文章に関する指導事項」イ・エに沿って言葉の力を育てる。

- ① 筆者が伝えたいことを理解する力
- ② 筆者の書きぶりについて自分の考えを持ち理解や表現に生かしていこうとする力
- ③ 筆者の伝えたいことに、自分の考えをもつ力

具体例 1年「いろいろなふね」3年「もうどう犬の訓練」（東京書籍）を通して

- ・ 目的に合わせて短くまとめる活動を仕組み、言語活動を具体化する。
「働く犬のものしりカードをみんなで作って読み合おう」
(カードの様式を示す、言葉や文を書き抜くだけでなく友だちが読んでわかるように短くまとめる。)
- ・ 形式段落ごとに要点をとらえて文章構成図を書く。
(構成図の口言葉を入れる。船ごとの役目を縦のつながりで見たり、役目-作り-できることの横のつながりで見たりして関係性を見る。)
- ・ 中心となる語や文をとらえる。
(題名から考える。繰り返し出る言葉を見つけ、形式段落の要点をつかむ。)

まとめ : 大事な言葉を自分で見つける学びをいろいろな教材で実践し、内容を読み取る。